

令和元年度 佐久市総合計画審議会第2部会（第1回） 会議録

日時：令和元年7月9日（火）

午後3時00分～

場所：佐久市役所602会議室

【出席者】6名

【事務局】若林企画課長、木下係長、中村、大内

1 開会

2 議事

(1) 佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理について

	【基本目標①・②・地方創生関係交付金事業】進行管理について
事務局	今回は、平成30年度の実績評価についてご意見をいただきますが、中間評価であることから、審議の視点として、KPIの推移や事業の成果から、「当該事業は地方創生の実現に当たり効果がある」、あるいは「当該事業はこうしたら効果が上がるのではないか」といったご意見をいただきたいと思います。
部会長	ここまでの説明で質問等がありますか。 それでは、評価報告書5ページから説明をお願いします。
事務局	【基本目標①】(1) 地域産業の競争力強化 ア 市内企業の成長の支援 (P5) イ 農林水産業の生産性向上とブランド化の推進 (P6) について説明
委員	7ページ「イ 農林水産業の生産性向上とブランド化の推進」のKPI「認定農業者の年間農業総額」が伸びていないのは、目標が高かったということですか。
事務局	当初の目標設定は、当時の認定農業者の方の所得総額から算出したものでありましたが、平成28年度に大規模農業者のうち、認定期間満了後に更新をされなかった方がいたことにより、一旦総所得額が落ちてしまっています。なお、事業の周知を進めていくことによって認定農業者数は増加傾向にあります。総所得額の減少分の

	<p>方が大きく、目標の達成には至っておりません。</p>
委 員	<p>8ページの「水田鮎養殖技術の研修」に関して、8回の開催に対して参加者が7人ということですが、毎回1人来ていれば8人になるのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>人数は延べ参加者数ではなく、7名の方がそれぞれ内容が異なる8回の研修に参加されたという事になります。</p>
委 員	<p>稚魚生産技術研修に関しては受講者が1人だけのようですが。</p>
事務局	<p>多くの方のご参加を目指していましたが、応募者は1名ということでした。</p>
委 員	<p>鮎の生産量が下がってきたとか、鮎に魅力がなくなってきたということでしょうか。</p>
事務局	<p>この稚魚生産というのは平成30年度からの新しい取組であり、稚魚の段階から育てることを学んでもらうために研修を用意したものです。生産量の減少等というよりも、周知が不十分であったことや想定していたよりも参加ニーズが高くなかったことが考えられます。</p> <p>なお、今年度の水田鮎養殖技術研修の実績については、開催回数9回、参加者数6人を予定しております。</p> <p>また稚魚生産技術研修に関してですが、現時点での今年度の参加者は0人ということであります。問合せ等はあるようですが、鮎養殖事業者が高齢化している中で、新しい技術の取得がハードルに思われていることが要因と分析しております。参加者数が少ない中で、別のアプローチについても検討していくということです。</p>
委 員	<p>鮎については、餌代等のコストが高く、儲けが少ないため、後継者が増えないのだと思います。養蚕が盛んだった時代は蚕を餌として活用できたため安価でできましたが、現在は経費が高騰していることが原因としてあると思います。そのような面からどうしたらいいかを考えていけばいいと思います。</p> <p>鮎の需要は、季節的なものもありますが、売れる時は早々に売り</p>

	<p>切れるようなこともあります。生産量が落ちているという面もあるかと思いますが、結果的に生産者が増えないということは、苦勞に対する儲けが少ないということです。</p> <p>何でも補助すればいいというものでもないと思いますが、そういうところを考えていかなければいけないと思います。時代も変わってきているので、今の時代は農業だけで食べていけず、結局やめてしまう方もいると思います。</p> <p>若手の後継者がある程度育っていればいいですが、大規模農家でも後継者がいない方は結構いると思います。</p>
事務局	<p>多岐にわたって後継者不足の問題はあると思います。</p>
委員	<p>それと農業者自身が値段を決めにくい状況もネックになっていると思います。</p> <p>例えば工業商品などは比較的自分で値段を付けやすいかと思いますが、農業者はそれがしにくい状況であり、そこに所得が増えない要因があると思います。</p> <p>農業などを推進していくならばそこまで掘り下げないと、いい結果には結びつかないと思います。</p>
事務局	<p>水田鮎養殖技術研修については、平成 29 年度から新たに始めた事業です。</p> <p>昔から、水田鮎は佐久の名産でありましたが、なかなか振興できていないところがありました。難しい面はありますが、ご意見を所管課にも伝え、前向きに検討したいと思います。</p>
委員	<p>産業支援センターについて、佐久商工会議所や他の商工会の方が利用していて、お陰様で成果が出ていると聞いています。</p>
部会長	<p>他にはないでしょうか。ただ今出た意見は、部会の報告の中に意見として付記をお願いします。よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
部会長	<p>では、次の説明をお願いします</p>

事務局	<p>ウ 地域資源を活用した観光・交流の促進 (P9)</p> <p>エ 持続可能な環境型社会の構築 (P10)</p> <p>オ 健康長寿ブランドの構築と国際展開 (P11) について説明。</p>
委員	<p>9ページの「ウ 地域資源を活用した観光・交流の促進」の主な成果にある、ヒルクライム佐久大会の開催期間については、昨年度までという事で良いでしょうか。</p>
事務局	<p>はい、一定の成果を見込めたということで、平成30年度を持って終了しています。</p>
委員	<p>9ページのKPI「観光客入込数」について、令和元年度の目標値が増えているようですがこの理由を教えてください。</p> <p>また、インバウンドの取組をするという事ですが、具体的な計画はできていますか。</p>
事務局	<p>まず観光客の入込数についてですが、こちらは県で観光施設ごとに取りまとめた数値をもとにしています。目標設定時には過去の傾向などから180万人を目指していましたが、今後はこの対象施設にヘルシーテラス佐久南が追加されるとの事でありますので、令和元年度からの目標に関しては、今までの数値に新たな施設分の入込客数を付け足す形で250万人と目標を修正しています。</p> <p>また、インバウンドの取組に関しては、今年度から予算化をし、事業に着手しており、こういった形で実施していくのかといった検討を有識者機関等で進めています。</p> <p>このため、今年度を終えればより具体的な方向性が明確になっていくかと思えます。</p>
委員	<p>ヘルシーテラス佐久南の利用者数は市内と県外とで分けられるのでしょうか。</p>
事務局	<p>観光施設に入った人数をカウントしているので、カウント数があるまま、市外からの観光客数ということではないのが実態であると考えております。なお、他自治体の施設等においても、同様の集計方法を採用しているところが多く見受けられます。</p>
委員	<p>ヘルシーテラス佐久南で土日に駐車している車の60%以上が県</p>

事務局	<p>外からの車のように思います。</p> <p>平日でもかなり県外から来ているのかもしれませんが、職員に数えてもらう等の方法により、数値化できれば良いと思います。</p> <p>県外利用者の傾向は掴んでおいた方が良いかと思います。</p> <p>なお、ヘルシーテラス佐久南の観光客入込数の状況に関しまして、平成30年度の利用者数は約34万7千人程度ということです。また、そのうち売店の利用者数は24万6千人程度です。</p>
委員	<p>9ページのKPI「東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿」について、実施が決まった時に、宿泊施設は足りるのでしょうか。</p>
事務局	<p>ちょうどエストニアのオリンピック委員会と正式に協定を締結したところであり、佐久市で合宿をしてもらうことが確定したところです。今把握している限りでも、選手や関係者だけでかなりの人数が来るということであり、その方々の宿泊施設に関しては課題であります。</p> <p>協定により人数の目星がある程度ついたかと思しますので、所管課でこれから対応を進めます。</p>
委員	<p>これから合宿所を決めるということでしょうか。</p>
事務局	<p>候補となる宿泊施設は検討してきていますが、詳細に関してはこれから調整を進めていきます。</p>
部会長	<p>他にはないでしょうか。ただ今出た意見は、部会の報告の中に意見として付記をお願いします。よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
部会長	<p>では、次の説明をお願いします</p>
事務局	<p>(2) 首都圏等からの人材環流及び佐久市における人材育成・雇用対策</p> <p>ア 新規就農・就業の促進 (P12)</p> <p>イ 技能・知識の獲得の支援 (P13)</p>

ウ 多様な人材の雇用促進 (P14) について説明	
委員	13ページの「イ 技能・知識の獲得の支援」KPIにある「資格取得支援事業」の対象となる資格とは何があるのでしょうか。
事務局	<p>対象事業が、建設業か老人介護施設事業と定められているので、その関係の資格になります。</p> <p>地方創生が始まった時に新たな事業として何ができるかを考えて作った事業ですが、当時建設業も介護も人手不足であったため、その支援をしていきたいという考えがありました。しかし実際の利用状況は、実績報告のとおりであり、これから見直しが必要と考えています。</p>
委員	<p>PRが足りていないということはないでしょうか。</p> <p>建設業などは資格を必要とすることが多いと思うので、本補助制度を利用せず資格取得している人は多いのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>フォークリフトの資格取得等については別に補助金があり、そちらが活用されているようです。</p> <p>本KPIに関わる資格取得支援事業の補助金は、単年度で取れる資格に限られていますが、建設や介護の資格等は複数年度にわたって取る資格も多いことから、今後見直していく中で、実際の状況を踏まえつつ検討していきたいと思います。</p>
委員	申請が難しいようなことも可能性としてあると思いますが。
委員	もし必要であれば、商業商工団体や建設業等からヒアリングしてください。新たな意見があるかもしれません。
事務局	所管課へご意見を伝え、検討させていただきます。
委員	資格を受ける方の年齢制限等はどうなっていますか。基本的に従業員で、資格を取る人が対象なのでしょうか。
事務局	年齢制限はなく、従業員が対象となります。

委員	<p>たまたま介護施設で話をした時に、ヘルパーさん達から、若い人よりも、できればもっと経験のある年齢の高い方が欲しいと意見がありました。</p> <p>そういう人たちが資格を取るのに利用できる補助等があれば良いと思います。</p>
事務局	<p>今後の見直しのタイミングで適切に検討していきたいと思えます。</p>
委員	<p>14ページ「ウ 多様な人材の雇用促進」の KPI「障がい者実雇用率」に関して、努力を要するとなっていてしまっていますが、これは企業側の問題なののでしょうか、それとも行政の支援がより必要ということなののでしょうか。こういう点については注目度が高い項目であり、ここの実績が高ければ良いまちと捉えられると思います。</p>
事務局	<p>ハローワークでは対策の一環として講演会や補助制度などを実施しておりますが、企業にもより取組を理解いただけるよう、啓発に努めていきたいと考えています。</p>
部会長	<p>他にはないのでしょうか。ただ今出た意見は、部会の報告の中に意見として付記をお願いします。よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
部会長	<p>では、次の説明をお願いします</p>
事務局	<p>(3) ICT等の利活用による地域産業の活性化 ア 民間企業等の ICT 活用による効率化と付加価値向上の促進 (P14)</p> <p>数値目標の進捗状況 (P5) について説明</p>
委員	<p>5ページ「数値目標の進捗状況」の「市内事業所の従業者数」に係る総合分析ですが、卸売業・小売業、建設業、製造業の従業者数が減って、医療・介護が増えているということです。</p>

委員	医療・介護は、推移的には増えていますが、特に重労働な職業であり、長続きは難しいのではないのでしょうか。
委員	従業員に使命感がないと働き続けることは大変かと思います。その面でもフォローしていただければと思います。
事務局	ご意見ありがとうございます。
委員	若い人もすぐ辞めてしまう方が多いと聞きます。大変さに比べ給料もそれほど多くなく、特に子育て世代にとっては厳しい状況があると聞きました。
事務局	<p>医療・介護従事者の確保は暮らしていく上での安心にもつながってくる問題なので、先ほどもあった「福祉・介護のつばき事業」の中では、外国人の方にも介護事業の担い手になってもらうことを検討しています。このままでは、長野県で5年後に15%介護従事者が足りなくなると言われています。これを単純に換算すると佐久地域では250～260人の従事者が足りなくなるとみられており、かなり切迫した状況にあります。</p> <p>その為、ある程度外国人の方にも担い手となっていただく必要がある状況にきています。</p>
委員	臼田に関して、小学校が統合して一校になり、既存の学校が使われなくなる中で、介護福祉士等を養成する専門学校を跡地に作れないのでしょうか。先ほどもありましたが、外国人の方が学べるような場所にならないかと引き続き提案していきたいと思いますので、市からも情報をいただければと思います。
事務局	跡地利用に関してはこれから決めていくところもありますので、まずは所管課で検討していきたいと思います。
委員	5ページの「今後の方針」にある、テレワークの関係で実施の見込みはありますか。
事務局	今年度から国の地方創生推進交付金をもらいながら、テレワークの推進事業を始めており、情報センターなどを改修してテレワーク

委員	<p>施設やコワーキングスペースとして活用したいと考えています。 また JR 東日本と提携していることから、企業を誘致して活用を促進したいと思います。 制度化が進んだことで、新たに取り組もうとする企業が増えることも想定されます。</p>
事務局	<p>今年度も引き続き実施していきたいと思います。</p>
委員	<p>テレワークの施設としても小学校跡地が候補で使えるのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>可能性はあると思います。</p>
委員	<p>実際にそういう使い方をしているところもあるようですが。</p>
事務局	<p>福島県では閉校後の学校をテレワークの施設として活用しており、7社程の企業が入っている状況です。</p>
部会長	<p>他にはないのでしょうか。ただ今出た意見は、部会の報告の中に意見として付記をお願いします。よろしいでしょうか。</p>
	<p>(異議なし)</p>
部会長	<p>では、次の説明をお願いします</p>
事務局	<p>【基本目標②】(1) 移住・交流の促進 ア 交流・観光・移住のためのプロモーションの実施 (P16) イ 移住定住促進のための体験機会の提供と経済的支援 (P17) ウ 地域おこし協力隊の導入 (P17) エ 生涯活躍のまち (日本版 CCRC) の構築 (P18) について説明</p>
委員	<p>17ページ「ウ 地域おこし協力隊の導入」について、現在地域おこし協力隊で活動しているのは何名ですか。</p>
事務局	<p>現在活動している者は4名です。</p>

事務局	<p>18ページ「主な成果」の表で言うと⑥⑧⑨⑩の方が平成30年度末時点で活動中です。①②③④の方は今年の3月をもって任期満了、⑤⑦の方は一身上の都合で退職となっています。</p>
委員	<p>浅科で凍み豆腐づくりをしていた方はどうなっていますか。</p>
事務局	<p>その方も任期を満了しており、自分で凍み豆腐店を開業して地域に残ってくれています。</p> <p>一般的に全国の隊員のうち約60%が地域に残ってくれている状況がありますが、佐久市の場合も現時点で7人のうち4人が定着しているので、概ね平均的だと分析しています。</p>
委員	<p>任期後には補助金は打ち切られるのでしょうか。</p>
事務局	<p>任期中に関しては国から活動経費として市に対して交付金が出ますが、任期満了後はありません。ただし、市内で起業した際には最大100万円が受けられる補助金があります。</p>
部会長	<p>他にご意見・質問等はないでしょうか。では、次の説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(2) 企業等の誘致、企業等による地方採用・就労の拡大</p> <p>ア 企業や政府関係機関の誘致 (P19)</p> <p>イ 遠隔地勤務等の新たな事業所立地の支援 (P20)</p> <p>ウ 就職支援員による就職相談及び職業紹介 (P20) について説明。</p>
委員	<p>19ページ「ア 企業や政府関係機関の誘致」の臼田の工業団地について、用地買収は終わっていますか。</p>
事務局	<p>現在、地権者の方と単価交渉中です。</p>
委員	<p>米中の貿易摩擦もあるので、企業の国内回帰ということもあるかもしれません。</p>

部会長	他にはないでしょうか。では、次の説明をお願いします
事務局	<p>(3) 若者の市内企業への就職促進と人材育成</p> <p>ア 地元出身学生の定着・Uターンの促進 (P20)</p> <p>イ 学生等への市内企業のPR支援 (P21)</p> <p>ウ 地域産業を担う人材の育成支援 (P22) について説明</p>
委員	21ページ「イ 学生等への市内企業のPR支援」の「主な成果」にある、学生等への市内企業のPRイベントとはどういったものでしょうか。
事務局	説明会がメインとなります。昨年度は2月に東京にて、実施しました。市内企業の皆さんに都道府県会館に行ってもらい、3年生をメインの対象としてPRしてもらいました。また、職業安定協会や小諸市と一緒に地元で実施したものもあります。
委員	職業安定協会と実施したものが、地元で開催したイベントという事でしょうか。
事務局	そうです。なお、市独自でやっているものはグランドホテルを会場として実施しています。
委員	うちの会社も以前参加させてもらいました。参加者が結構増えてきたように思います。
事務局	<p>そうです。一方で東京での開催は、いつ頃やるのが良いのか悩んでいる状況です。</p> <p>今回は2月に実施したところ人数が集まったので、これまでの4年生を対象にしたイベントよりは、もう少し前の段階で3年生を対象にしたPRも良いのかと考えております。参加者は多いとはいえ30名弱であったので、佐久市単独で開催しても効果が見込めるのか検討の余地があると考えています。</p>
委員	<p>30名程度であれば効果があったと感じます。</p> <p>ただ、中小企業でも最初に募集した段階では結構集まるそうです</p>

	<p>が、内定辞退も早い段階で多いとのこと。そのため定着してもらうのは厳しいようです。</p>
委員	<p>どうしても若いうちは都会に住みたいと思います。東京に出してしまうと、こちらに帰ってきて就職する人は少なく、多くが都会で就職してしまうと思います。</p>
委員	<p>定年になって帰って来るような状況かと思います。</p>
委員	<p>それでも最近若い人が何人か帰ってきていますし、女性より男性の方が地元志向なところがあり、昔に比べれば増えてきたと思います。</p>
部会長	<p>他にはないでしょうか。ただ今出た意見は、部会の報告の中に意見として付記をお願いします。よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
部会長	<p>では、次の説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【基本目標②】 数値目標の進捗状況 (P16) について説明</p>
委員	<p>社会増の傾向にあるようですが。</p>
事務局	<p>順調に増えています。</p>
委員	<p>その社会増の中で、佐久市で働いている人、あるいは佐久市に住んで遠隔地に通勤している人の割合はわかりますか。</p>
事務局	<p>転入された方の勤務地という括りでは把握ができていません。</p>
委員	<p>新幹線があるから佐久市に住んだという方や、佐久市に企業があったから住んだという方がいるかと思います。</p>
事務局	<p>それぞれ一定数いるとは聞いていますが、正確な数字は把握でき</p>

	<p>ていません。</p>
委員	<p>移住補助金に関してですが、例えば結婚を機に佐久市に転入し、会社に勤めた方も対象になりますか。</p>
事務局	<p>現在の移住補助金の制度上、空き家バンク登録物件を新たに取得することや、新築等により住宅を取得されることが条件となります。転入される方がそのような条件を満たせば対象となる可能性はあります。</p>
部会長	<p>他にはないでしょうか。ではこれで次の施策について説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【地方創生推進交付金（1/2）活用事業】 ア 交流と協働で織り成す夢をかなえるまちコンパクトシティ 臼田と CCRC 事業の構築（P46） イ ジャパンブランド「健康長寿」推進事業～“SAKU Health-care model”の構築・展開を目指して～（P46） について説明</p>
委員	<p>46 ページ「ア 交流と協働で織り成す夢をかなえるまちコンパクトシティ臼田と CCRC 事業の構築」について、臼田の市営住宅をリニューアルし、サポート付き高齢者向け住宅にするとのことですが、実際に今そこに移住したいという希望者はいますか。</p>
事務局	<p>興味があるという問合せは一定程度ありますが、例えば猫を飼いたい、農地が欲しい等、条件が折り合わないところがあり、入居決定に至るまでには難しい状況であります。</p>
委員	<p>確かに、近くに利用できそうな農地はあまり無いと思います。</p>
事務局	<p>今後は民間事業者が管理・運営をしていくので、市では対応できない事柄にも手を広げ実施してもらえれば、入居者の確保につながると考えております。</p>
委員	<p>46 ページ「イ ジャパンブランド「健康長寿」推進事業～“SAKU Health-care model”の構築・展開を目指して～」にある、佐久産</p>

<p>部会長</p>	<p>業支援センターに関して、ほとんどスタッフの方はIターンと聞いています。</p> <p>スキルも高いとのことですので、この先も継続いただきたいと思っています。</p> <p>予定した議題は終了しました。全体を通して、ご意見などはございますか。</p> <p>それでは、【基本目標①】及び【基本目標②】、【地方創生推進交付金（1/2）活用事業】についての意見は、事務局において取りまとめ後、部会長一任ということによろしいでしょうか。</p> <p>（異議なし）</p> <p>本日いただいた意見は、他の部会で出た意見と一緒にまとめさせていただいて、まとめたものを委員の皆様にお返しさせていただきます。</p>
------------	---

（訂正：P21 主な成果の部分 就職支援員数 1名→2名）

（2）その他

次回：「第二次総合計画進行管理について」

日程について説明（7月17日（水）13：30から 602会議室）

3 閉会